

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年5月7日(2015.5.7)

【公開番号】特開2014-176564(P2014-176564A)

【公開日】平成26年9月25日(2014.9.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-052

【出願番号】特願2013-53583(P2013-53583)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月23日(2015.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の契機が成立した時に、遊技者に不利な通常遊技状態から遊技者に有利な大当たり遊技状態へ移行するか否かを抽選する大当たり抽選を行い、前記大当たり抽選の抽選結果に応じて所定の演出表示を行う表示手段と、前記演出表示の進行に関連して演出用可動体を作動させる遊技機であって、

前記大当たり遊技状態は、第1の大当たり遊技状態と、前記第1の大当たり遊技状態よりも有利な第2大当たり遊技状態とを有しており、

前記演出用可動体は、

前記表示手段の前側に設けられており、少なくとも一部に所定の絵柄が形成された第1絵柄、及び前記第1絵柄を覆う閉じ位置と前記第1絵柄を視認可能な開き位置との間で移動可能な第1可動部を有する第1装飾体と、前記表示手段が視認可能な退避位置と、前記表示手段を覆う進出位置との間を進退するための駆動力を付与する第1駆動モータと、を備えた第1可動体と、

前記表示手段の前側に設けられており、少なくとも一部に所定の絵柄が形成された第2絵柄、及び前記第2絵柄を覆う閉じ位置と前記第2絵柄を視認可能な開き位置との間で移動可能な第2可動部を有する第2装飾体と、前記表示手段が視認可能な退避位置と、前記表示手段を覆う進出位置との間を進退するための駆動力を付与する第2駆動モータと、を備えた第2可動体と、

前記第2可動部を前記閉じ位置と前記開き位置との間で移動させるための駆動力を付与する駆動手段と、

前記第1可動体及び前記第2可動体が前記進出位置に位置する時に、これら前記第1可動体及び前記第2可動体を係合させ、前記第1可動体及び前記第2可動体を合体させる係合手段と、

前記第1可動体及び前記第2可動体が前記進出位置に位置する時に、これら前記第1可動体及び前記第2可動体が合体しているか否かを検知する検知手段と、

前記大当たり抽選において前記第1の大当たり遊技状態に当選した場合には、前記第1可動体及び前記第2可動体を合体させる第1演出を行わせ、前記大当たり抽選において前記第2の大当たり遊技状態に当選し、前記検知手段から前記第1可動体及び前記第2可動体が合体した旨の検知信号が入力された場合には、前記第1可動体及び前記第2可動体を合体させ

た後に前記駆動手段を駆動させて前記第1可動部及び前記第2可動部を一体的に閉じ位置から開き位置へ移動させ、前記第1絵柄及び前記第2絵柄を視認可能にする第2演出を行わせ、前記大当たり抽選において前記第2の大当たり遊技状態に当選し、前記検知手段から前記第1可動体及び前記第2可動体が合体した旨の検知信号が入力しなかった場合には、前記第1演出を行わせるように制御する演出制御手段と、を備えたことを特徴とする遊技機。

#### 【請求項2】

係合手段は、係合部と、前記係合部と係合される係合受け部とからなり、前記係合部は、第1可動部又は第2可動部のいずれか一方に形成されており、前記係合受け部は、前記第1可動部又は前記第2可動部のいずれか他方に形成されている、請求項1記載の遊技機。

#### 【請求項3】

検知手段が係合手段に設けられている、請求項1又は2記載の遊技機。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、

(1) 所定の契機が成立した時に、遊技者に不利な通常遊技状態から遊技者に有利な大当たり遊技状態へ移行するか否かを抽選する大当たり抽選を行い、前記大当たり抽選の抽選結果に応じて所定の演出表示を行う表示手段と、前記演出表示の進行に関連して演出用可動体を作動させる遊技機であって、前記大当たり遊技状態は、第1の大当たり遊技状態と、前記第1の大当たり遊技状態よりも有利な第2大当たり遊技状態とを有しており、前記演出用可動体は、前記表示手段の前側に設けられており、少なくとも一部に所定の絵柄が形成された第1絵柄、及び前記第1絵柄を覆う閉じ位置と前記第1絵柄を視認可能な開き位置との間で移動可能な第1可動部を有する第1装飾体と、前記表示手段が視認可能な退避位置と、前記表示手段を覆う進出位置との間を進退するための駆動力を付与する第1駆動モータと、を備えた第1可動体と、前記表示手段の前側に設けられており、少なくとも一部に所定の絵柄が形成された第2絵柄、及び前記第2絵柄を覆う閉じ位置と前記第2絵柄を視認可能な開き位置との間で移動可能な第2可動部を有する第2装飾体と、前記表示手段が視認可能な退避位置と、前記表示手段を覆う進出位置との間を進退するための駆動力を付与する第2駆動モータと、を備えた第2可動体と、前記第2可動部を前記閉じ位置と前記開き位置との間で移動させるための駆動力を付与する駆動手段と、前記第1可動体及び前記第2可動体が前記進出位置に位置する時に、これら前記第1可動体及び前記第2可動体を係合させ、前記第1可動体及び前記第2可動体を合体させる係合手段と、前記第1可動体及び前記第2可動体が前記進出位置に位置する時に、これら前記第1可動体及び前記第2可動体を合体しているか否かを検知する検知手段と、前記大当たり抽選において前記第1の大当たり遊技状態に当選した場合には、前記第1可動体及び前記第2可動体を合体させる第1演出を行わせ、前記大当たり抽選において前記第2の大当たり遊技状態に当選し、前記検知手段から前記第1可動体及び前記第2可動体が合体した旨の検知信号が入力された場合には、前記第1可動体及び前記第2可動体を合体させた後に前記駆動手段を駆動させて前記第1可動部及び前記第2可動部を一体的に閉じ位置から開き位置へ移動させ、前記第1絵柄及び前記第2絵柄を視認可能にする第2演出を行わせ、前記大当たり抽選において前記第2の大当たり遊技状態に当選し、前記検知手段から前記第1可動体及び前記第2可動体が合体した旨の検知信号が入力しなかった場合には、前記第1演出を行わせるように制御する演出制御手段と、を備えたことを特徴とする遊技機、

(2) 係合手段は、係合部と、前記係合部と係合される係合受け部とからなり、前記係合部は、第1可動部又は第2可動部のいずれか一方に形成されており、前記係合受け部は、

前記第1可動部又は前記第2可動部のいずれか他方に形成されている、上記(1)記載の遊技機、

(3)検知手段が係合手段に設けられている、上記(1)又は(2)記載の遊技機、  
を要旨とする。